

検 査

平成26年産米の初検査

【生育概況】

26年産水稻の生育は、育苗期から移植期にかけて、概ね平年を上回る気温と日照が確保され、全道的に順調なスタートを切ることが出来ました。

初期生育が良好であったことから、分けつが旺盛で茎数が多く確保され、また、7月にかけても好天が続いたため、懸念された冷害危険期の生育も順調に推移し、平年より早く出穂期を迎えることが出来ました。

8月以降は、多雨・寡照の傾向となったことなどから、登熟に若干の日数を要したものの、総じて稔実初数が多く確保されており、平年を上回る収量が見込まれています。

【検査概況】

本年産米の収穫作業は8月下旬に上川・空知を皮切りに各地区で開始され、9月1日に美唄市（空知地区）で全道初の検査が行われました。品質的には未熟粒が若干みられましたが、その他の項目については基準を満たし、全量が1等に格付けされました。

他地区の米穀初検査についても、概ね昨年と同時期に実施されました。

【全道初検査の概要】

1. 検査場所 美唄市農業協同組合
(らいす工房検査場所)
- 2.刈取日 平成26年8月27日
3. 初検査日 平成26年9月1日
4. 銘柄 「おぼろづき」
5. 格付け 1等
6. 数量 270袋/30kg
7. 水分 14.4%

【各地区の初検査実施日】

- | | |
|-------|------|
| 9月3日 | 上川地区 |
| 9月9日 | 後志地区 |
| 9月11日 | 日胆地区 |
| 9月12日 | 留萌地区 |
| 9月12日 | 道南地区 |
| 9月17日 | 石狩地区 |



(9月3日 JAひがしかわにて)